

平成 28 年 10 月 7 日

一般社団法人 日本船主協会 総務部

川崎汽船石炭船「MAIZURU BENTEN」と関西電力舞鶴発電所見学会を実施

当協会は、この夏に、「海と日本プロジェクト」の一環として展開した「船ってサイコ〜2016 せんきょう夏休みキャンペーン」をはじめ、海運の重要性を一般の方々にご認識いただくべく広報活動に力をいれており、特に青少年を対象に海運や船員の仕事への理解増進に取り組んでおります。

また、学校教育において、わが国の暮らしと産業を支える海運のことを取り上げていただくよう、海事都市を中心をお願いをしており、地元の関連施設と組み合わせた見学会等も企画・実施しております。

今回は、川崎汽船との共催により、一昨年の「海フェスタ京都」開催を契機に交流が深まった舞鶴市と同市教育委員会のご後援、関西電力のご協力を得て、9月29日(木)に開催したもので、同市の小学校4～6年生31名、教諭3名が石炭船「MAIZURU BENTEN」と石炭火力発電所を見学しました。ブリッジではフィリピン人の同船船長から歓迎のスピーチに続き、同社植田船長から操船機器の説明を聞き、積地オーストラリアのジュースのプレゼントがありました。また、ウイングから石炭の荷役の様子を見学し、船長室や厨房、居住区などを巡りながら、航海中の生活の一端に触れました。

小学生からは、「海の近くに住んでいることから船を目にする機会は多いが、初めて間近に見た石炭船の大きさは想像以上で、それを少人数で動かしていることに驚いた」などの感想が寄せられました。

当協会では、今後とも各自治体や地元企業などからのご協力等も仰ぎながら皆様の日々の生活を支える海運を広く知って頂くための活動をしてまいります。

